



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

議会だより

平成24年10月30日 発行

■発行

石川県宝達志水町議会

〒929-1492

石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1

TEL(0767)29-8310 (直通)

FAX(0767)29-4623

■編集

宝達志水町議会

広報編集特別委員会

第30号



宝達山自然保護記念植樹

主な記事



■24年第3回定例会 2

■一般質問 (5名) 3

■委員会ノート 6

■視察報告書 7

■町議会日誌 8

平成24年
第3回

定例会

9月10日~14日

統合中学校名

宝達中学校に決定！



◎予算関係

○一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれに1億4673万円を増額するもの。

主な歳入

・地方特例交付金
△500万円

・児童手当及び子ども手当特例交付金

・国庫支出金
721万円

・(現年発生補助災害復旧事業費負担金など)

・県支出金
3540万円

・(介護基盤施設等緊急整備臨時特例事業費補助金)

・繰入金
944万3千円

・(国民健康保険直営診療所特別会計繰入金)

・繰越金
9627万7千円

・(前年度繰越金)

・町債
340万円

・(現年公共土木施設災

害復旧債)

主な歳出

・総務費
6520万8千円

・(減債基金積立金など)

・民生費
4182万円

・(介護基盤施設等緊急整備臨時特例事業費など)

・衛生費
699万4千円

・(町民センター管理運営費など)

・農林水産業費
1011万円

・(農地事務費、押水農村環境改善センター管理運営費など)

・商工費

8万円
(能登空港等利用促進助成金)

・土木費
210万円

・(町道補修工事費)

・消防費
974万1千円

・(消防施設整備事業費など)

・教育費
67万7千円

・(小学校教育支援費)

・災害復旧費
1000万円

・(公共土木施設災害復旧費)
〔全員賛成〕



7月21日の豪雨による子浦川の災害現場(所司原地内)

○介護保険特別会計補正
予算(第1号)

歳入歳出それぞれに
696万2千円を増額す
るもの。

(国庫支出金等過年度分
返還金、介護給付費準
備基金積立金など)

〔全員賛成〕

○国民健康保険直営診療
所特別会計補正予算
(第1号)

歳入歳出それぞれに
1374万3千円を増額
するもの。

(基金積立金、一般会計
繰出金)

〔全員賛成〕

◎条 例

○宝達志水町立学校設置
条例の一部を改正する
条例

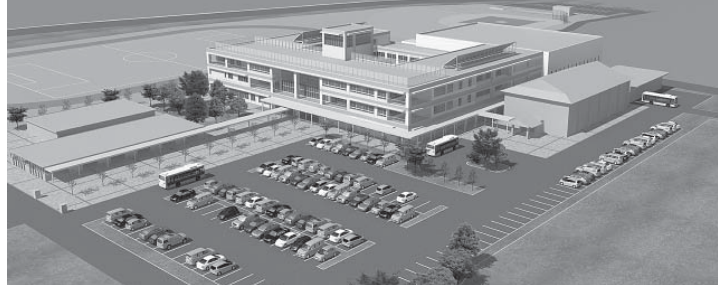
(押水中学校及び志雄中
学校を廃止し、新たに
宝達中学校を設置する)
〔賛成11人、反対1人〕

◎報 告

○平成23年度決算に基づ
く健全化判断比率等

◎平成23年度決算認定

○一般会計歳入歳出決算
○国民健康保険特別会計
歳入歳出決算
○後期高齢者医療特別会
計歳入歳出決算



宝達中学校イメージ図

○介護保険特別会計歳入
歳出決算

○国民健康保険直営診療
所特別会計歳入歳出決
算

○ケーブルテレビ事業特
別会計歳入歳出決算

○水道事業会計決算

○下水道事業会計決算

○国民健康保険志雄病院
事業会計決算

〔いずれも継続審査〕

◎決算特別委員会

- 委員長 林 一郎
- 副委員長 宮本 満
- 委員 北 信幸
- 委員 守田 幸則
- 委員 津田 勤
- 委員 土上 猛
- 委員 久保 喜六

◎請 願

○石川県知事あてに志賀
原子力発電所の再稼働を
しないことを求める意見
書の採択を求める請願

〔不採択〕

町政を問う

質問 いっぱん

国道471号のルート変更は

町長 結論には時間がかかる



宮本 満 議員

問

- ①国道471号のルート
変更について。
- ②防災について(7月21
日の豪雨より)。

答 町長

①町内の整備状況は、総
延長6・3kmの内、2・
5kmが手つかずの状況。
主な理由は、改良工事を
した場合、数多くの家屋
移転と、多額の事業費が
必要となり、財源の確保
が難しいため。家屋移転
を求められた多くの方の、
これまでの生活基盤が崩
れる弊害を、どう解決す
るか問題である。昨年、
県から、いつまでも事業
が進まない、方向転換
もという提案を受けた。
町は昨年11月15日に、
沿線の区長さんに対し、
問題点をはじめとするル
ート変更の考え方につい
ての説明会を開催した。
この地元の見解と要望を
基に、県とルート変更し

た場合の問題点の解決策
について協議を行ってお
り、ルート変更をするか
しないかの結論が出るに
は、まだまだ時間がかか
る。

宝達川の改修問題は、
ルート変更に関係なく、
石川県をはじめ関係機関
に要望していく。

②宝達川では、時間雨量
50mm級に対応する整備は
完了していることから、
7月21日の所司原に降つ
た豪雨が、宝達川上流域
に降ったとしても、これ
に対応できると考えてい
る。



国道471号(上田地内)

行財政改革の取り組みは

町長
できるだけ早い時期に目標を達成したい



柴田 捷 議員

問
① 行財政改革について。
② イノシシ対策について。

答 町長

① 今後の財政運営としては、歳出は、公債費負担適正化計画に沿って投資的経費の抑制、事務事業各種補助金の見直しをしてきたが、公債費が多額であるため、減債基金の積み増しを行い、削減に努む。歳入は、遊休財産の売却、使用料及び負担金は行政コストに見合った適正な水準に改定するなど、定期的に見直しを図ることにより財源を確保しなければならない。

行財政改革のさらなる取り組みは、景気や財政状況の良否にかかわらず、継続して取り組まなければならない永遠の課題。必要な機構改革と職員定数の適正化に努めながら、全庁的かつスピード感をもって取り組み、できる

だけ早い時期に目標を達成したい。

② イノシシの被害防止対策のため国の交付金及び町有害鳥獣対策費補助金により、電気柵の設置に対する支援をしている。

町からの着工指示が遅れ、農家の方には迷惑を掛け、今年度の課題を整理し、早々に要望等の取りまとめを行い、有効なイノシシの農作物被害防止対策を迅速に実施したい。また、情報の共有化を図るためにも、きめ細かな情報提供を行い、的確な支援ができるよう対処したい。



下水道事業財政の見通しは

町長
今後も厳しい経営状況が予想される



寶達典久 議員

問
下水道事業とトイレの問題について。

答 町長

今後の建設改良事業は、樋川処理区の管渠工事のほか、長寿命化計画に基づく改築、更新工事として、平成25年度からの今浜浄化センターの更新工事を始めに、北川尻浄化センター、志雄浄化センターの更新工事を計画している。

下水道事業財政の見通しは、平成32年から35年にかけて企業債償還の



今浜浄化センター

ピークを迎えることから、今後も非常に厳しい経営状況が続くことが予想される。これまで経費の削減や一般会計からの繰入金、事業計画の見直しにより、経営の安定化を図っているが、さらなる経営努力が必要とされている。

答 地域整備課長

災害被害に対する準備は、仮設トイレや仮設ポンプ、発電機等を常備することが必要だが、下水道施設だけでなく、町全体のライフラインの確保を考える必要がある。町防災計画の中で検討していかねばならないと考えている。

答 ふるさと振興室長

宝達山の山頂公園には、仮設トイレを設置している。トイレの整備は必要と考えており、宝達山整備計画の策定において検討したい。



小島昌治 議員

障害者控除対象者認定書を 対象者すべてに発行する考えは

町長

平成24年分の税申告に間に合うよう発行する

問

- ① 所得税及び地方税の「障害者控除」及び「特別障害者控除」の対象となる町高齢者への周知徹底について。
- ② 子どもの医療助成制度の充実について。
- ③ 通学路の交通安全の確保について。
- ④ 地域経済活性化について。

答 町長

① 本町の高齢者で障害者控除の認定対象となる方への税の申告にかかる障害者控除対象者認定書は、平成24年分の税申告に間に合うよう、対象者すべてに発行する。

② 県に対して町長会を通じて、県の補助制度の拡充を要望しており、引き続き、要望したいと考えている。

③ 要対策箇所は19箇所であり、対応を検討する。国や県及び警察に対し要請すべきものは、速やかに



宝達今浜線のガードパイプ

に要請した。今浜地内の県道宝達今浜線のガードパイプのように、既に新しいものに更新した箇所もある。また、町で対応するものは、年次計画で実施したい。

児童生徒には、交通安全に十分気をつけて登下校するよう学校から指導している。

④ 町民からの制度創設の意見も届いてないことから、現在のところ住宅リフォーム助成の実施は予定していない。



久保喜六 議員

志雄病院の建て替えは

町長

移転新築により平成28年度の開院を目指す

問

- ① 新病院建設基本構想について。
- ② 宝達志水町教育行政の指針に伴う23年度の報告書について。
- ③ 地籍調査について。

答 町長

① 病院運営特別委員会及び志雄病院整備検討委員会の意見や提案を踏まえて策定。

志雄病院は、設備も老朽化し、耐震性能も不十分、増改築により看護効率も悪く、駐車場も狭いことから、今後も地域に密着した病院の役割を果たすため、移転新築を計画。

規模は一般病床45床、医療療養病床20床、介護療養型老人保健施設20床で、平成28年度の開院を目指す。

用地は新たな土地を購入するのではなく、現在の町有地の中から、最適な用地を選択し有効活用



志雄病院

答 教育長

を図りたい。

② 学力向上は一昔前のような、詰め込み教育ではなく、現在は教科書の音読と基礎的な計算力の育成を柱に、学校へ指示している。

答 産業振興課長

③ 平成23年度までの完了面積は21・85km²、進捗率は20・3%。専任職員の配置は難しい。

委員会ノート

第3回定例会会期中の審査内容

総務産業建設常任委員会

問 津波、ため池、土砂災害のハザードマップ等を一つにまとめればどうか。

答 各々のハザードマップを防災マップとして、一冊にまとめたものを作成し、配布する方向で調整している。

問 町消防団第3分団の車庫移転に伴い、ホースの乾燥施設はどうなるのか。

答 移転場所に新たに設置したい。

問 街灯設置工事はLED対応か。

答 4集落で6基を新設、LED灯で整備する。

問 消防のホース格納庫、防火水槽の修繕整備等の要望に対する予算は。

答 ホース格納庫は2カ所で新設要望があり予算

計上。ホース等の更新は、計画的に実施。防火水槽は、緊急度の高い順で、今回、正友と所司原の2カ所を計上した。

問 河川の管理方法は。毎年、河川愛護の時に異常箇所等の報告を集落から受けている。また、定期的に職員で道路、河川のパトロールを実施している。

答 平成25年度から今浜第2地区のほ場整備事業がはじまるが、保育所及び中学校の通学路整備の考えは。

答 ほ場整備の中に通学路も含めて考えていく。地元の協力をお願いしたい。

問 旧相見保育所の解体は。平成25年度解体に向けて実施設計を行っている。跡地は未定。

答 平成25年度解体に向けて実施設計を行っている。跡地は未定。

問 旧相見保育所の解体は。平成25年度解体に向けて実施設計を行っている。跡地は未定。

答 平成25年度解体に向けて実施設計を行っている。跡地は未定。

問 旧相見保育所の解体は。平成25年度解体に向けて実施設計を行っている。跡地は未定。

答 平成25年度解体に向けて実施設計を行っている。跡地は未定。

問 旧相見保育所の解体は。平成25年度解体に向けて実施設計を行っている。跡地は未定。



旧相見保育所

教育厚生常任委員会

問 4種混合ワクチンの対象者は。

答 3カ月以上経過した子ども。

問 医療機関は。

答 個別に医療機関で接種。接種したかどうか把握できるのか。

答 町から対象者に接種券を送付。接種の時、その券を医療機関に渡すことにより、接種情報が医療機関から町に

入ってくる。不活化ワクチンの費用は。

答 1回9300円の4回接種。

問 特定健診の受診率は。

答 7月末で集団検診が926人、個別受診は95人。受診率は37・8%。

問 介護保険の施設整備の補助金には、建設費と運営費があるのか。

答 運営費の補助金はない。施設開設準備経費助成特別対策事業費補助金の内訳は。

問 建設費と開設準備経費。事業者の募集方法、選定方法は。

答 公募による。事業者の町内外のしぼりの規定はない。事業者選定委員会の答申に基づき、町長が決定する。

問 事業者選定委員会の委員は。

答 公認会計士、石川県国民健康保険団体連合会理事、県職員、大学教授、福祉団体の長の5人で町長が委嘱。

問 住宅新築等奨励金は、町内業者を利用し建築した場合、増額はあるのか。

答 町内業者での上乗せはしていないが、検討し

特定健診



特定健診

病院運営特別委員会

問 国民健康保険直営診療所管理運営基金積立金の補正は。

答 設置時の起債額2210万円を基金額とするもの。

問 移転後、志雄病院の建物、土地の有効活用は。

答 新病院建設後に解体するが、借地は返還し、町有地の活用及び処分は、新病院建設後に検討する。

問 貸し出すことは。

答 行政財産の不法使用となるので出来ない。



志雄病院官舎

視察報告書

病院運営特別委員会

10月1日～2日

下呂市立 金山病院 〔岐阜県〕

志雄病院の果たすべき役割の継続、老朽化、狭隘化、耐震化問題などに対処する施設整備計画として新病院建設基本構想が策定されました。

今後の事業の推進の参考とするため、姉妹都市である下呂市が移転新築したばかりの金山病院を視察しました。

今年6月に竣工、8月1日に開院し、ちょうど2か月が経過したところでした。

当委員会としては、基本設計の段階である平成21年にも視察しており、今回は計画から開院に至



新築された金山病院全景

るまでの全体的な流れの中で、具体的な問題点やその解決策などの実態について情報を得ることを

目的としました。

下呂市での新病院建設にあたっては、その必要性など多く論議されましたが、救急病院の配置などから必要であるとの結論に達したものでした。

事業費は20億円以内、面積は7千㎡以内を目標に、「日本一・ローコスト・高価値の病院づくり」を目指し、設計業者は公募型プロポーザル方式で決定し、施工業者は基本設計を終えた時点で概算事業費を算出し、

び市民参加型ワークショップを開催し、その意見も反映しています。

施工業者の選定にあたっては、ライフサイクルコスト（将来における維持管理費）及び建設コストの縮減に関する提案事項により決定しました。

なお、全体工事費の35%以上を地元建設業者に発注対応することも提案条件としました。

完成した新病院は、鉄筋コンクリート造4階建て、一部5階建てで免震構造となっています。

建設場所は、地域の医療・保健・福祉・健康ゾーンの核施設として、周辺施設との一体的な活用を可能とする位置であり、

初期医療、救急医療、慢性期医療の充実を目指しています。

経費削減のため、外形は無駄のない形となっており、内部は一部混み入った所があり、移動が分かりにくい点が見受けられました。また、会議室



野村市長（右端）と中島議長（左端）にも出席していただきました。（金山病院玄関前にて）

等の面積にも制約があるため、隣接の保健センターを利用することで対処するなど、工夫が見られました。

緊急車と健診受診者にはそれぞれ専用出入口を設け、一般外来者の待合室を通らないで出入りできるようにしています。

旧病院での診療と並行した形での移転であったため、MRIなどの大型医療機器は移動に要する期間が長く、開院前に使

用を休止して必要な期間を確保し、その他の仕器等からは支障のないものから順次移動し、本格的には開院前4日間で行ったそうです。入院患者は、開院の前日に4台の救急車を利用して移送したとのことでした。

なお、新病院になってからは患者数が増えているそうです。

今回の視察は、新病院の建設にあたり大変参考になりました。

町議会 日誌 7月～9月

〔7月〕

1日 道路愛護デー
2日 社会を明るくする
運動法務大臣メツ



道路愛護デー会見式

3日 学校給食委員会
4日～5日 セージ伝達
6日 国道159号羽咋
道路整備促進期成
同盟会総会
9日 主要地方道押水福
岡線改良促進期成
同盟会総会
11日 今浜海水浴場浜開
き
19日 広報編集特別委員
会
22日 所司原キャンプ場

羽咋郡市広域圏事務組合議会
議長に金田之治議員

羽咋郡市広域圏事務組
合議会が8月30日開催さ
れ、本町の金田之治議員
が議長に選出されました。

1日 決算審査
2日 羽咋郡町議会議長
会研修会
3日 町戦没者慰霊式

〔8月〕

23日 開村式
能登総合開発促進
協議会理事会、総
会
能登地区町議会連
絡会
24日 議会改革特別委員
会
25日 例月出納検査
国道471号宝達
志水津幡間整備促
進期成同盟会総会
河北縦断道路建設
促進同盟会総会
商工会・町長を囲
む懇談会
26日 県戦没者慰霊式
30日 病院運営特別委員
会
31日 決算審査



羽咋郡町議会議長会研修会

6日～7日 議会運営委員会
ちどり園夏まつり
8日 広域圏行政視察
千里浜海岸保全・
利活用推進協議会
9日 中学校建設特別委
員会
9日 議員・監査委員研
修会
10日 R D F 組合議会連
営委員会
11日 県民体育大会開会
式
12日 県民体育大会
17日 県民体育大会報告
会
19日 北陸新幹線金沢・
敦賀間起工記念大

10日 議会運営委員会
11日 町議会定例会開会
教育厚生常任委員
会
12日 総務産業建設常任
委員会
14日 町顕彰選考委員会
議会運営委員会

〔9月〕

20日 議会改革特別委員
会
21日 中学校建設特別委
員会
22日 議会運営委員会
町社会福祉大会
24日 例月出納検査
28日 町議会全員協議会
29日 R D F 組合議会
30日 広域圏議会運営委
員会
広域圏議会定例会

広報編集特別委員会
委員長 津田 勤
副委員長 林 一郎
委員 北 信幸
委員 宮本 満

議会を傍聴しませんか
町民の皆さんに議会活動の内容を広く知っ
ていただくために、議会の傍聴をお勧めしま
す。傍聴する前に、議場入り口で、氏名、住
所、年齢の記入をお願いします。
問い合わせ 議会事務局 TEL29-8310

24日 町議会定例会再開
監査会・議長協議
会
25日 例月出納検査
26日 エ「オムライスの
郷」プレオープン
27日～28日 広域圏議会決算特
別委員会
30日 志雄地区敬老会